



くまの子俱楽部

三室保育園本館

山口 幸子

秋の七草が茂り、季節が少しずつ変わっていることが感じられるようになってきました。虫たちの声も心地よく聞こえます。これから季節、お散歩だったり畠に出かけ身体を動かす機会が多くなります。元気よく身体を動かすためにも、しっかりと朝ごはんを食べましょう。また、睡眠時間も十分に取り、怪我や病気をすることなく毎日を過ごせるようにしましょう。



## ↑ 気温差にご注意 ↓



日中まだまだ暑い日が続きますが朝夕はいつの間にか秋の気配を感じられるこの頃。過ごしやすくなつたとはいえ、季節の変わり目で体調を崩してしまう子も多くなります。1日の気温の差が激しく、日中は熱中症を心配するほどですが、夜には肌寒くなるため、こまめに脱ぎ着する必要があります。乳幼児は自分で体温を調整するのがまだ難しいため、気付かないうちに風邪を引いたり、体質によっては喘息を起こしたりすることもあります。汗や鼻水などの様子に気を付けるようにしましょう。

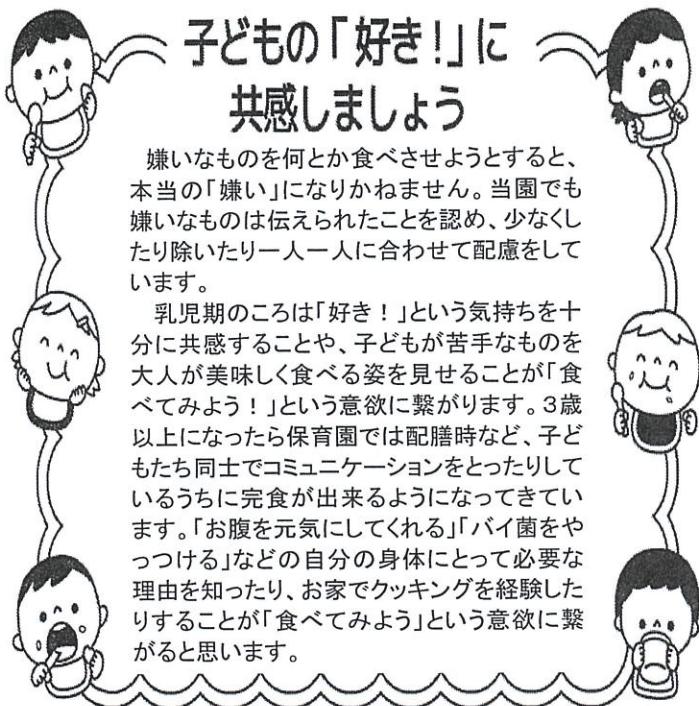


## トイレトレーニングについて

園では食後や昼寝の後など節目毎にトイレへ誘っています。初めは排泄がなかなか出来なくとも、便器に座ることを続けてみると、そのうちに友達の様子に刺激を受け、徐々にトイレでおしっこが出たり、うんちが偶然出来たりと成功がだんだんと増えていきます。

最終的には自分で「おしっこ！」と言えるのが目標ですが、排尿する間隔を空けることで尿意を感じるため、その感覚が掴めるまでは失敗も当然です。

ご家庭でも子どものペースに合わせて「オムツはいつか外れるから」と気長に取り組みましょう。



嫌いなものを何とか食べさせようとすると、本当の「嫌い」になりかねません。当園でも嫌いなものは伝えられたことを認め、少なくしたり除いたり一人一人に合わせて配慮をしています。

乳児期のころは「好き！」という気持ちを十分に共感することや、子どもが苦手なものを大人が美味しく食べる姿を見せることが「食べてみよう！」という意欲に繋がります。3歳以上になら保育園では配膳時など、子どもたち同士でコミュニケーションをとったりしているうちに完食が出来るようになってきています。「お腹を元気にしてくれる」「バイ菌をやっつける」などの自分の身体にとって必要な理由を知ったり、お家でクッキングを経験したりすることが「食べてみよう」という意欲に繋がると思います。

## お願い

これから季節胃腸炎などの感染症が流行り始めます。当園ではお子さんが体調を崩し、下痢や嘔吐をして衣服を着替えた時、または、お昼寝の時に便や嘔吐物で汚れてしまった衣服やシーツなどは、二次感染を事前に予防するために洗わずにそのままビニール袋に入れて返却させて頂きます。

ご家庭で消毒してから洗濯をお願いします。消毒方法については、説明用紙をお渡しいたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

